

第 66 回全日本少年野球大会開催要綱

1 目的

児童自立支援施設入所児童が、野球を通じて困難に打ち勝つ強い精神と協力心を養うとともに、健全明朗な心身を育成し、もって児童福祉の増進を図ることを目的とする。

2 大会名称

第 66 回全日本少年野球大会

3 主催

厚生労働省
全日本少年野球連盟
全国児童自立支援施設協議会
岐阜県

4 共催

中部地区児童自立支援施設協議会

5 後援（予定）

岐阜県議会、岐阜県教育委員会、岐阜市、岐阜市教育委員会、社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、株式会社日刊スポーツ新聞社、全児協転退職者交友会、岐阜新聞社、中日新聞社、株式会社朝日新聞社岐阜支局、株式会社毎日新聞社岐阜支局、株式会社読売新聞社岐阜支局、一般社団法人共同通信社岐阜支局、株式会社時事通信社岐阜支局、日本放送協会岐阜放送局、株式会社エフエム岐阜、大垣共立銀行、十六銀行、株式会社岐阜フットボールクラブ、大垣ミナモソフットボールクラブ（順不同）

6 協賛（予定）

一般社団法人日本野球機構、岐阜ヤクルト販売株式会社、ジャパンビバレッジ株式会社（順不同）

7 協力（予定）

岐阜県野球連盟、岐阜県警察音楽隊、岐阜大学、中部学院大学、岐阜経済大学、朝日大学他

8 開催期間

平成 27 年 8 月 24 日（月）から同月 26 日（水）まで

8 月 25 日又は 8 月 26 日が雨天等のため試合が困難な場合は、大会実行委員会及び審判員が合議の上、中止する。

9 開催場所

(1) 監督・主将会議及び抽選会

岐阜長良川温泉ホテルパーク（〒500-8009 岐阜県岐阜市湊町 397-2）

(2) 大会会場

長良川球場（岐阜市長良福光 2675-28）

岐阜市民球場（岐阜市八代 2 丁目 8）

岐阜ファミリーパーク球場（岐阜市北野北）

ハツ草球場（岐阜市本荘 3456-6）

10 大会日程

8月24日(月)

受付	14:00～	長良川温泉ホテルパーク
監督・主将会議	15:30～16:20	長良川温泉ホテルパーク
抽選会	16:30～17:30	長良川温泉ホテルパーク

8月25日(火) 大会初日

開会式	9:00～	長良川球場(雨天:ふれ愛ドーム)
A球場試合開始	10:30～	長良川球場 (3試合)
B球場試合開始	10:30～	岐阜市民球場 (3試合)
C球場試合開始	10:30～	八ツ草球場 (2試合)
D球場試合開始	10:30～	岐阜ファミリーパーク球場 (3試合)

8月26日(水) 大会二日目

準決勝	9:00～	長良川球場
準決勝	9:00～	岐阜市民球場
決勝	12:00～	長良川球場
閉会式	14:00～	長良川球場

11 大会役員

大会名誉会長	厚生労働大臣
大会会長	岐阜県知事
大会副会長	厚生労働省雇用均等・児童家庭局長 全日本少年野球連盟理事長 全国児童自立支援施設協議会長 岐阜県健康福祉部長

12 大会実行委員会

- (1) 本大会の計画、準備、運営に関する一切の事項を処理するため、本大会実行委員会を設け、委員長他の委員を置く。
- (2) 大会実行委員会に関する規程は、別に定める。

13 大会運営

- (1) 本大会の運営は、本要綱に定めるものの他に「全日本少年野球連盟規約」の定めるところによる。
- (2) 本要綱によりがたいものについては、8月24日(月)開催の監督・主将会議に諮り決定する。
- (3) 本大会運営上、緊急に決定を要する事項については、大会実行委員長の責任において処理する。

14 参加チーム (15チーム)

前回優勝チーム		近畿地区	2チーム
東北・北海道地区	2チーム	中国地区	1チーム
関東地区	2チーム	四国地区	1チーム
東海地区	2チーム	九州地区	2チーム
北越地区	1チーム	開催地(岐阜県)	1チーム

15 大会出場資格

児童自立支援施設の入所児童であって、あらかじめ主催者あてに登録された選手に限る。

16 チーム編成

1チームにつき選手15名以内、監督、施設長、連絡員（職員）、記録員各1名の計19名以内とする。

17 試合規定

別紙のとおり

18 表彰式

チーム賞として、優勝、準優勝、3位（2チーム）を表彰する。

19 負担金

参加チームは、負担金として15,000円を納入する。

20 宿舎

ホテルパーク

21 宿泊費等

- (1) 旅費及び宿泊費（1人1泊2食付 9,000円）及び昼食弁当代（800円）については、参加チームで負担する。なお、部屋の割り当ては主催者において決定する。
- (2) その他、大会運営に係る経費は主催者が負担する。
- (3) 24日（月）及び25日（火）の両日は試合の勝敗にかかわらず宿泊するものとする。

22 参加申込み

- (1) 出場資格を得た児童自立支援施設の施設長は、7月24日（金）までに所定の申込書により大会事務局に申し込むものとする。
- (2) 参加に伴う連絡、案内等の詳細については、別途大会事務局から通知する。

23 大会事務局

岐阜県立わかあゆ学園

〒501-0515 岐阜県揖斐郡大野町457

TEL (0585) 32-2240

FAX (0585) 32-2240

附 則

この要綱は、平成27年6月17日から施行する。

第 66 回全日本少年野球大会 試合規定

- 1 試合形式はトーナメント方式とする。
- 2 試合ルールは、原則として「2015 公認野球規則」及び「(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携 2015」を適用する。
- 3 試合は、7回戦とする。ただし、3回終了時以降において10点以上、5回終了時以降において7点以上の得点差がある場合は、コールドゲームとする。
なお、決勝戦においてはこれを適用しない。
- 4 7回を終えて同点の場合は特別延長戦を行う。ただし、決勝戦については9回まで延長し、それでも同点の場合に特別延長戦によって勝者を決する。

※特別延長戦

最終回のメンバーにより無死満塁からプレーを始める。この場合、打者は前回最終打者の次者とし、走者はその前3人とする。なお、代打及び代走も可能とする。1回(イニング)で勝者が決まらない場合は、さらに継続打順でこれをもう1回(イニング)行う。それでも勝者が決定しない場合は、当該回(イニング)のメンバー9人の抽選により決定する。

抽選は、両チームメンバー9人が投手から順に試合開始挨拶の状態に整列し、先攻チームから大会実行委員が準備した封筒により交互に抽選を行う。審判員2名及び両チーム監督の立ち会いのもと開封し、○印の多いチームを勝者とする。

- 5 試合中に悪天候又は日没等により審判が試合続行を不可能と判断した場合は、コールドゲームを適用する。ただし、5回終了まで試合が進行していない場合、または、5回終了時以降において同点の場合は、当該回(イニング)のメンバー9人の抽選により勝者を決定する。抽選の方法は、第4項と同様に行う。
- 6 試合の組合せは、8月24日(月)に行う抽選会において決定する。
なお、事前の監督・主将会議において予備抽選を行い、同一地区のチームについては、ゾーン(パート)を分け抽選を行う。抽選の順序は、当該地区予選大会の上位チームから行う。この場合、前回優勝チームも地区予選大会での順位を優先する。
なお、開催地チームは大会開会式準備等の関係から開会式会場第1試合にあてることとし抽選は行わない。
- 7 ベンチ入りする者は、選手15名、監督、施設長、連絡員(職員)及び記録員各1名の合計19名以内とする。
監督はチームと同一のユニフォームを着用し、連絡員及び記録員の服装は白色のシャツに紺、黒、グレー系のスラックス、あるいはチームと同一のユニフォームを着用する。
なお、いずれもチームと同一の帽子を着用する。
- 8 ランナーコーチは、選手に限るものとし、ヘルメットを着用する。

- 9 ベンチは、組合せ抽選番号の若い番号のチームを一塁側とする。ただし、続けて試合に臨む場合にはベンチの移動は行わない。
- 10 試合の先攻または後攻は、主将によるメンバー表交換時にトス（ジャンケン）により決定する。
第1試合は試合開始予定時刻の30分前、第2試合以降は前試合の4回終了後に事務局の指示する場所に集合し、各試合ごとのメンバー表4部を事務局に提出する。前試合がコールドゲームの場合は、放送で指示する。また、次の試合チームのブルペン使用は、4回終了時から可能とする。
- 11 シートノックは、各チームの最初の試合時のみ7分以内で行い、後攻チームから始める。ノッカーは、同一のユニフォームを着用している者に限る。ただし、大会進行上都合により行えない場合もある。その場合は、事前に各チームへ伝達する。
- 12 審判は、岐阜県野球連盟に委託する。
- 13 ゲームの進行は、審判の合図にて行う。
なお、特別のグラウンドルールは、試合前に審判が指示する。
- 14 試合中の審判に対する抗議は、一切認めない。ただし、審判員の裁定が規則の適用を誤って下された疑いがある時には、監督だけがその裁定を規則に基づく正しい裁定に訂正されるように要請することができる。
なお、試合成立後の要請については、試合の結果を変更するものではない。
- 15 試合に使用するボールは、全日本軟式野球連盟（JSBB）公認のB号ボールとする。
- 16 バットは、金属製バットの使用は認めるが、全日本軟式野球連盟（JSBB）マークを付けた公認のものに限る。
また、複合バット、マスコットバット、鉄棒、リング等の使用は禁止するとともに、ベンチに持ち込まないものとする。
- 17 シューズは、ポイントスパイクを使用し、金属スパイクの使用は禁止する。
- 18 打者及び走者は、全日本軟式野球連盟（JSBB）マークを付けた公認のヘルメットを必ず着用する。
なお、次打者も同様とし、ウェイティングサークル内で低い姿勢で待つ。
- 19 キャッチャーは、必ずスロートガード付きマスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、（全日本軟式野球連盟〔JSBB〕マークを付けた公認のもの）及び急所用カップを着用する。
- 20 悪天候等により、試合規定の一部を変更する場合がある。